

◆『Intelligence』購読会員の皆さまへ:ニュース・レターNo.39(2016年9月号)◆

厳しい残暑が続いておりますが、会員のみなさまはいかがお過ごしでしょうか。さて、『Intelligence』次号 17号の投稿原稿の締め切りは、2016年9月末と迫っております。ふるってご投稿下さい。投稿をご予定の方は、事務局まであらかじめご連絡頂ければ幸いです。ご愛読の会員の皆さまには、ニュース・レターとともに「Intelligence」会員専用ウェブサイト <http://www.bunsei.co.jp/ja/intelligenceuser.html> 会員向けブログとあわせてご覧いただければ幸いです。皆さまからのご意見、ご要望をお待ちしております。

また、ただいま20世紀メディア研究会百回記念として特別企画展「雑誌に見る占領期—福島鑄郎コレクションをひらく」を早稲田大学26号館、大隈記念タワー10階125記念室にて開催中です。カストリ雑誌をはじめ、貴重なコレクションが約100点展示されております。ぜひご来場ください。なお、会期中に展示担当者によるガイドツアーも企画しております。Facebook「雑誌に見る占領期のご案内」で予告をいたしますので、ご注目下さい。

【ブログ用エッセイ募集】会員向けブログでのエッセイは、お楽しみ頂いておりますでしょうか。第11回、第12回は清水あつし先生による「初期帝大新聞の研究1・2」と題された、貴重な新聞史研究に関する読み応えあるコラムを頂いております。このブログのエッセイの執筆希望者を、購読会員の中から募っております。研究に関する小話やヒント、資料紹介などを会員向けブログに掲載希望の方は、お原稿をお送り下さい。原稿の長さは千字程度、写真を二葉そえてご提出下さい。詳しいことは、事務局までご連絡下さい。

【20世紀メディア研究会百回記念国際シンポジウムのご案内】夏休み明けの研究会は、上記でお知らせした企画展に合わせた記念シンポジウムを9月18日(日)に開催いたします。会場は早稲田大学3号館305号室にて午後13:00~17:00、ゲストスピーカーとしてはルイズ・ヤング先生(ウィスコンシン大学)、石川巧先生(立教大学)をお招きしての開催となります。登壇者詳細につきましては、こちらをご覧ください:<http://www.waseda.jp/prj-m20th/> 皆さまのご来場をお待ちしております。その後の研究会は10月29日(土)、11月26日(土)に予定しております。研究会でのご報告御希望の方は、20世紀メディア研究所事務所 m20th@list.waseda.jp まで、メールにてご一報下さい。

【コラム:ボストンで昼食を——ジョン・ダワー教授との会食の思い出】プランゲ文庫へ資料調査に出ることが夏期休暇期間の行事となっているが、今年は例年にはない特別な夏となった。占領期研究の名著『敗北を抱きしめて』のご著者、ジョン・ダワー教授とお昼をご一緒する機会に恵まれたのだ。特別展示に合せたシンポジウムを企画する過程でゲストスピーカーのお尋ねを差し上げたことがきっかけである。ご来日は叶わなかったが、思い切ってお会いしたい旨を伝えたところ、お昼をご一緒しましょう、とのお返事を頂戴したのだった。実際にお目にかかった教授ご夫妻は、それは優しい笑顔の素敵なお二人だった。奥様との共同作業がああ名著としてあることは、同書の献辞にもある通りだが、お二人を目の前にするとその重みを実感された。ご著書にサインを頂戴できないかお願いした際、持ってきたことに驚かれながらも、自分の他の仕事はテーマが重くて暗いが、この本は書いていて本当に楽しく、それを愛読してもらえることはとても嬉しい、と教授はお話された。教授の傍らで、静かにほほ笑む奥様のご様子を思い出すと、この本が持つ温かさを象徴するタイトル「抱きしめて(embracing)」とは、お二人の在り方に他ならないと気づく。お二人が末永くお元気であってほしいと心から思いながら終えた今回の調査だった。[9月5日付 文責:鈴木貴宇]